

はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを
合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

HEART SHIP

特集 備えよう! 防災力・地域力・女性力

はーと・シップチェック
防災・減災編

家族で防災・減災について 話し合っていますか?

- ①被災した時、それぞれの居場所や行動を確認していますか? Yes No
- ②家族との連絡方法を決めていますか? Yes No
- ③避難場所と経路を確認していますか? Yes No
- ④危険箇所をみんなでチェックしていますか? Yes No
- ⑤備蓄品を準備していますか? Yes No

普段できていないことは、災害時の行動に移すことは
できません。
日頃から防災意識を持つことによって、いざという時
に落ち着いて行動できるよう考えてみましょう。



講演 子どもたちが安心して暮らせる社会 ～ DV や児童虐待予防にむけて私たちに出来ること～

講師：森田 ゆりさん
(エンパワメント・センター主宰)



6月23日(土) 小野市うるおい交流館エクラ 大会議室にて

虐待・DVの被害者に共通することのひとつは「誰にも言えない」こと。被害体験のもたらした様々な感情を「傾聴」してくれる人の存在が大切です。そして「聴く」ということが、本来誰もが持っている自分自身で問題を解決する力(エンパワメント)を発揮する手助けになることを強調されました。

日常の子育てにおいても、子どもの話に耳を傾け、安心される存在になることや、親が心に余裕がない時には、親自身も安心できる誰かに話を聞いてもらうことが大切だと話されました。

一方、虐待してしまう親たちも苦しんでいて、虐待した親たちの厳罰化だけでは問題の解決にはならず、暴力に至るまでの心の深い部分を知ることや、社会全体で支援していくことが必要だと学ぶことができました。

特集 備えよう! 防災力・地域力・女性力

災害はある日突然起こります。それがいつ起こるのかどんな規模なのか、誰にも予測できません。昨年の東日本大震災は記憶に生々しく、小野市においても他人ごとではありません。山崎断層地震や、ゲリラ豪雨・台風による風水害に備える必要があります。

防災力 家庭においてできること

1. 被災時の家族それぞれの居場所と行動について確認しよう

平日の昼間、平日の夜、休みの日では家族の行動パターンが異なります。また、災害が起こった時に、家族みんなが一緒にいるとは限りません。自宅から離れた学校や職場で被災した時にどう行動するのか、子どもは誰と一緒にいるのか、学校や職場に態勢を確認しておくことで様々なリスクを回避できます。子どもの成長や勤め先の変更に合わせて、年に一度は確認し合ひましょう。

2. お互いの連絡方法を話し合おう

家族の集合場所、お互いの連絡方法、子どもの迎え・預かってくれる人について具体的に話し合ひましょう。複数の連絡手段を備え、どの手段を使うのか家族全員が知るようにしましょう。災害時に避難場所となる小学校、集会所など落ち合う場所を決めておくことで安心です。「災害用伝言ダイヤル」(NTT) 171 は災害時の連絡手段として有効です。

3. 避難場所と経路について話し合おう

家・職場・学校の近くの避難所をそれぞれ確認しましょう。避難時と同じ状態(子どもは抱っこするなど)で自宅から地域の避難所まで歩いて、所要時間を計ります。その時に、経路の危険な箇所や、安全な避難路、公園などの利用できる避難場所も確認します。これらの情報を元に家族みんなで作成経路マップを作りましょう。

4. 危険箇所をみんなでチェックしよう

家の中、家の周り、避難所までの経路など、危険だと思う所を全員で確認して、直せる所は早めに対処しておきましょう。(家具・家電の転倒防止策 ガラスの飛散防止対策)

キケン

食器棚・タンスの前、屋根瓦、ブロック塀、看板



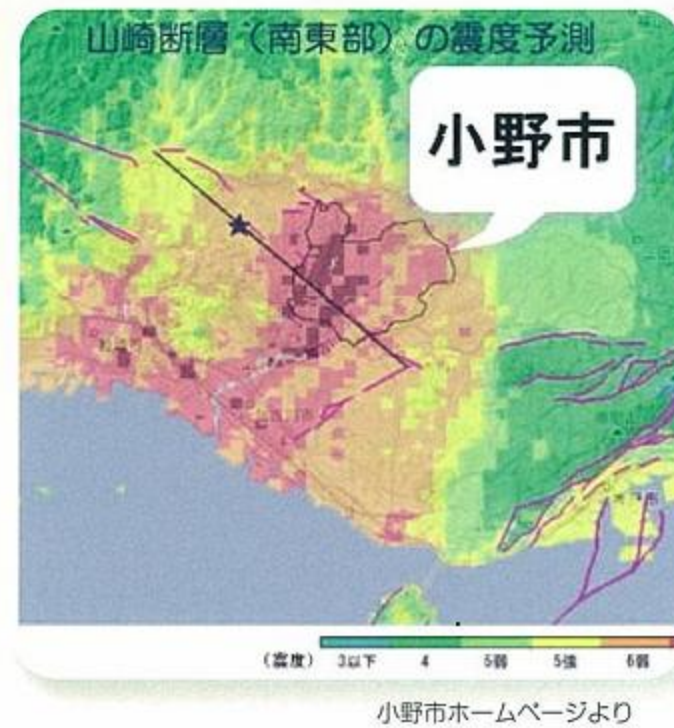
安全

トイレ、机の下
公園・田んぼのような広い場所



山崎断層帯南東部地震動予測値図

小野市全域が震度6弱以上であり、震度7や震度6強が予測される地域も多くあります。



「災害伝言ダイヤル」NTT 171

ご利用用法	
伝言の録音方法	伝言の再生方法
171 にダイヤル	171 にダイヤル
ガイダンスが流れます	ガイダンスが流れます
録音の場合 1	再生の場合 2
(000) 000-0000	(000) 000-0000

NTTホームページより

5. 備蓄品(3日分)を準備しよう

家族の人数や構成に応じて、①防災袋に入れる持ち出し用、②長期にわたる災害に対応するために家に備蓄するもの、に分けて用意しておきましょう。被災直後72時間は人命救助が優先されます。3日間は自力でしのげるように備蓄をしておきましょう。



①持ち出し用

防災袋には、1人当たり1日分の食品等を準備し、重さは約5キログラムが適切です。リュックサック、防災ベスト(つり用ベスト)など、持ち運ぶ時に両手がふさがらないものに入れて、普段から1箇所にまとめて置いておきましょう。

どこにおいてあるか
家族で確認しましょう

②備蓄品

- 水 … 1人当たり1日3リットル
- 食料 … 非常食(乾パン、缶詰、チョコレートなど)
- その他 … 新聞紙、ラップ、ハンカチ、ラジオ、ビニール袋、下着、歯ブラシ
- 加えて、自分自身に必要な**マイリスト**を作りましょう。
- 乳幼児 … おむつ、ミルク、ほ乳瓶、乳首、アルコールスプレーなど
- 妊産婦 … 母子健康手帳、保険証
- アレルギー体質の人 … 体質に合った食料
- お年寄り … 入れ歯を失くしても食べられる食料、お薬手帳
- その他 … 生理用品など



地域力 地域においてできること

災害に対する備えとは、まず、一人ひとりが防災力を持つことです。地域の強みや弱点を知っているのは、そこに住む人だけです。世代を問わず、ご近所とかかわりを持つことから始めましょう。顔の見える人間関係は人と人との結びつきを強くします。東日本大震災の被災地では、人との繋がり・絆の大切さを実感したという意見が多く聞かれました。人と人との繋がりは災害時においても、自分自身を支える強い力になるといえます。



女性力 防災・減災に女性の参画

東日本大震災等をふまえ、国の防災基本計画が修正されました。更衣室や授乳室の設置など、特に女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所運営には、女性の視点も必要だと認識から「防災の意思決定の場に女性を」という声が高まっています。地域の防災活動に、積極的に女性も加わっていくことや、今後の防災対策に女性の意見も反映していくことが望まれます。

日頃から家庭や地域、職場などで男女が共に支えあい、共に考えることによって、災害時の援護の仕方、男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮した防災意識を高めることが必要です。

ハートフル パートナー

Vol.21

今回は、平成13年度に結成された女性消防団「サンフラワーズ119」の団員の方にお話を伺いました。



Q どのような活動をされているのですか？

小学校などの防火訓練に参加し、心肺蘇生法やAEDの使い方等の指導をしています。また防火活動の呼び掛けとして、春・秋の年2回量販店等で防火のチラシ配りをしています。

現在20名程度で活動していますが、グループにわかれて、週ごとに「サンフラワーズ119」の車で防火の呼び掛けの巡回をしています。

Q 入団して良かったと思うことは？

けがの処置・救急活動の内容を知ったことで、いざという時慌てずに対処できます。

高齢者宅を訪問し、危険箇所のチェックやアドバイスをしてみなさんに喜んでもらえることがうれしいです。

研修会では、他の地域の女性消防団との交流があり、意見交換をしたり今後の活動の参考になる話を聞くことができ、勉強になります。

Q これからの抱負は？

この活動をもっと多くの方に知ってもらい、地域の方の身近な存在になりたいです。

みなさんに、火の怖さを知ってもらうことで火事を出さないよう認識してもらい、火災ゼロを目指してがんばってまいります。

Q 男女共同参画という視点からは？

消防団として同じ現場に向かう気持ちをもって、女性ならではの目線で、心のケアなど精神的なフォローができればと思います。家族や職場の理解と協力があって、活動が続けられます。

インタビューを終えて

「女性消防団として、自分達にできることを常に意識し学び伝えていく」という想いが、凛とした姿に表れ輝いていました。

女性だから男性だからという枠を超えて、考えを行動に移していけるような人になりたいと思いました。

無料相談窓口案内 市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画推進グループ	女性のためのさまざまな相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 <small>随時</small> 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 <small>予約制</small> //	木曜日 13:00~16:00
			※託児ご希望の方は、ご相談ください。	
小野市民病院	女性のための医療専門相談	小野市中町323 小野市民病院内	面接相談 <small>予約制</small> 0794-63-2020	木曜日 14:00~16:00
小野市 ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONOのみわりほっとうライン)	小野市役所内	電話・面接相談 <small>随時</small> 0794-62-4110	月曜日~金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみの相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30
	男性のための相談		電話相談 078-360-8553	第1・3火曜日 17:00~19:00
	妊娠総合相談		電話相談 078-360-1388	第1・3土曜日 10:00~16:00
※詳しくは、078-360-8550へお問い合わせください。				
兵庫県女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 <small>随時</small> 078-732-7700	毎日 9:00~21:00
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平日9:00~21:00 土曜日9:00~17:00

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。
ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (NPO 法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

Information

〈防災講演会〉

「他人事ではない自然災害！
地域の防災・減災を考える」

日時：8月10日(金)
14:30~16:30
場所：小野市うるおい交流館
エクラ大会議室

講師：田端 八重子 さん
定員：150名(先着順)



岩手県もりおか女性センター
長を講師にお招きし、東日本大震災から1年が過ぎ、あらたに見えてきた課題などを伺い、いざという時の備え等について地域のみなんで考えましょう。

「母と子の防災・減災ワークショップ」



7月9日(月) 県立男女共同参画センターとともに「母と子の防災・減災ワークショップ in 北播磨」を開催しました。県内10地域で開催されたワークショップ参加者からの意見をもとに、地域性をふまえた「母と子の防災・減災ハンドブック地域版」が10月に発表されます。